

## 地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会熊本市支部

### 加工用ホウレンソウ大規模産地形成に向けて

熊本市では、青果物冷凍加工施設の整備に併せ、令和元年度から加工用ホウレンソウの産地形成が進んでいます。昨年度は、6名が約12haで栽培を行っており、種苗会社等関係機関と連携し、安定生産技術の確立に取り組んでいます。

加工用ホウレンソウの課題として、肥料価格高騰の影響や、チップバーンの発生があります。今年度は、肥料価格高騰対策として、牛ふんペレット堆肥施用の比較試験、また、加工用ホウレンソウとしての品質向上のため、チップバーンや抽苔が出にくい品種を選定する比較試験を実施しました。

その結果、堆肥施用試験では、収量は化学肥料のみの慣行区と比べ、堆肥を施用した区が優れた結果になりました。また、品種比較試験においては、晩抽性の品種は、慣行区に比べて収量が劣る結果となりましたが、チップバーンの発生は、慣行区に比べ少ない結果となりました。今回は、どの品種も抽苔はみられなかったため、再度検討する予定です。



左上：展示ほ調査の様子  
右上：関係者打合せの様子  
左下：晩抽性品種の生育状況